

# 大津島の年間行事

美しい自然、豊かな人情、歴史と文化。それらを守り続ける島の人々。一年を通して様々な活動をしています。



島に着いたら、まず深呼吸を  
のぼほんタイムのはじまりです

oodushima guide book

take free



大津島地区コミュニティ推進協議会

**大津島巡航** <http://www.ccsnet.ne.jp/~jyunkou/index.html>

島へ采られる際は一度こちらの時刻表をご確認の上お越しください。

検索

BLOG

FB

リアルタイムな大津島を知りたいならこちら！

Facebook [www.facebook.com/nohohon.oodushima](http://www.facebook.com/nohohon.oodushima)

大津島ブログ [www.shunan310-inakagurasi.com](http://www.shunan310-inakagurasi.com)

鳥在住の方へインタビュー!!

# 大津島のココがイイトコ?

No. 1

大友 翔太 (28) 本浦在住 Uターナー



「わからんことは聞けばええんよ」

私は、地域おこし協力隊員として、平成22年に、東京都から大津島へUターナーしました。知り合いがいらない土地での新しい生活。多少の不安もありましたが、優しい島の皆さんに支えられ、すぐに島の生活に慣れることができました。大津島は、地域全体が家族の様に間わり合い、不便な部分があっても、皆が協力しあって生活しています。地域行事は勿論、それこそ醤油がなければ、お隣さんに借りに行きます(笑)。移住して4年。まだまだ私は半人前の島民です。日々、地域の方々に叱られるが、たまに褒められるながら島で生きる術を学んでいます。移住する上で一番大切なことは、分らないことを隠さずに、素直に「分からんから教えてください」と聞くことだと思います。すると「あんな、そんな事も知らんのかねえ〜」と、言いながら皆さん親切に教えてくださいます。

古城 涼太 (26) 馬島在住 Uターナー

No. 2



「日々変わる自然を感じられるんちゃ」

24歳の時に、都会から島に帰ってきました。高校生の時は、島を出て都会で暮らすことに憧れていました。卒業後は、都会の大学に行くこととなり島を出ました。都会は便利どころどころですが、住んでいた頃は、毎日が同じ繰り返しで、焦燥とした気持ちでした。そんな中、島に居ると「やっぱり島がいいな〜」と思いました。島に住んでいた時は、分かれませんでした。地域の皆さんは優しく、日々変わる自然を感じて、驚きや感動がいっぱいあります。何より時間がゆっくり流れていて、ほっとする場所です。そこで私は、もともと釣りが好きだったこともあり、大津島で漁師になることを決めました。自然と向き合ってきたことも、仕事なので大変ですが、豊かな海にはそれだけの価値があると思います。

No. 3

安達勝一 (67)・美佐子 (58) 天浦在住 Uターナー



「毎日充実した日々をすごせるんよ」

1年前に大津島へUターナーしました。島に帰るきっかけは、母が島で一人暮らしをしていたので、一緒に暮らすために帰ってきました。結婚する時に、うちのおなご(嫁)には、「ワジの事は、放っておいても良いので、母と喧嘩だけはしないでくれ」と言っていました。そして、彼女が島に住んでも良いと言ってくれたので助かりました。島の生活には、自治会の活動や消防団の活動などがあり、毎日充実した日々を過ごしています。都会に住んでいた時よりも、島に住んでいると体を動かすことが多いので、ダイエイトにも成功しました。(笑)母がお世話になった地域の皆さんに、感謝ができるように頑張っていきたいと思っています。

おまかせください!



里の案内人  
中濱 未喜

私たち、里の案内人は、地域と移住者の皆さんの橋渡しをする役目を担っています。空き家の案内を始め、地域で暮らしていく上でのアドバイスや、日常の困りごとなど気軽にご相談ください。島内には、26名が「里の案内人」の認定を受け活動しており、長く大津島に住んでいるからこそ分かる島の魅力や、島暮らしのノウハウを熟知しています。遠慮せず、何でも聞いてみるのが、移住への第一歩です。島の生活には、都会に住んでいるとは決して得ることが出来ない、ほんのりとした時間や、豊かなさを感ずることが出来る空間があります。是非、一度大津島に足を運んでください。皆さんが、大津島に来られる日を、一回心待ちにしてお待ちしております。

まずは居住体験

しまのわ ~ 島暮らしを体験してみませんか ~



島のほろほろで、ゆったりお過ごしいただけます。

場所 大津島 瀬戸浜地区(瀬戸浜港より徒歩約10分、大津島支所より車で15分)

対象者 島暮らしに興味がある方、島への移住をお考えの方

利用期間 最長2週間 ※滞在中の食事の用意や清掃、洗濯等は各自でお願いします

間取り等 木造平屋 台所(上水道、冷蔵庫、電子レンジ、カセットコンロ有り、ガスなし) 便所(洋式・くみ取り)、風呂(給湯器、シャワー有り)

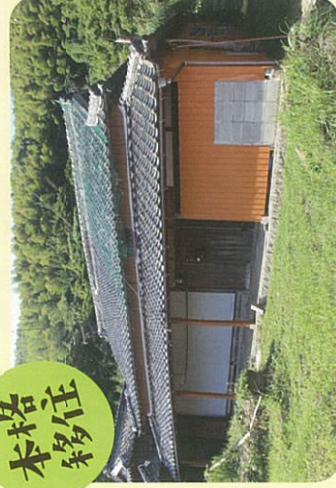
賃料 7日以内15,000円 ※賃料は契約時に前金でいただきます 8~14日 1日当たり2,000円を加算した額

貸主 大津島地区コミュニティ推進協議会

契約方法 利用希望者は大津島支所に問い合わせ後、貸主と賃貸借契約

その他 一室のみエアコン有り 寝具(4相)、調理器具、石鹸、シャンプー等生活用品は一部用意していますが、詳細はお問合せください

移住本格



海が見える古民家

- ! 窓の裏に畑もあり、耕作も可能です。
- 窓の真横に道路が通っているので、買物の荷物の搬入も楽々です。

島に伝わる伝統的な古民家です。縁側に座れば、本浦地区の山々や海を眺めることができます。徳山のコンピナートに面していないため、昼間とても静かで、夜も星がとて綺麗です。



大津島定住相談窓口 連絡先

大津島支所 〒745-0057 山口県周南市大字大津島 1361-4 TEL 0834-85-2001

# 島のくらし



## 祭り

各地域で行われ、それぞれの地区にとって、最も大切な行事と言っても過言ではありません。大津島には、それぞれの地区にお宮があるので、祭りの内容や日にちが異なる場合もあり、島の歴史を感じることができます。



## 大津島ポテトマラソン

今年で、25回を迎えた大会。参加賞もイモ！入賞品もイモ！大津島の特産品のサツマイモ。マラソン後は、温かい「名物いも汁」が皆さんを待っています。



## 大津島出身者の会 若潮の会

島外に住む出身者が中心となり、若潮の会を設立。島内の行事のサポートや、アイランドカップなど自主事業を展開しています。今後の島の地域づくりを担っていく若者達です。



## 大運動会

学校の生徒が少ないため、住民も一緒に、競技に参加し、地域全体で運動会を盛り上げています。運営面でも地域と学校が協力しながら行っています。



## 本浦垣の内農園

平成25年より、本浦自治会の役員が中心となり、本浦の耕作放棄地だった農地（地名 垣の内）周辺を再生し、地域の景観維持、小麦やサツマイモの栽培などを行っている団体です。



## お大師様

各地区でお大師様のお接待が行われます。馬島地区のお大師様は、昔から「相撲」を取ることが恒例となっています。



## 地域間交流

大津島は、須金地区と30年以上、毎年交流をおこなっています。

## 潮流編集委員会

地域コミュニティ紙「潮流」は、記事の執筆、校正まで地域住民が行っています。島内の情報、エッセイ、俳画など内容も様々で、読み応え十分です。



# 消防団

日々の訓練を始め、夏に開催される消防大会への参加や、年末夜警巡回など、島の安心安全を守っています。



島の安全は私たちが  
お守りします!!!

# 伝統芸能

代々守り続けられている唄や踊りを紹介します。



## 平家踊り

主に、馬島地区の盆供養踊りとして、古くから踊り継がれています。衣装は、袴と浴衣があり、扇子や槍を持ち踊る姿は、とても美しく雄大です。



## 長持唄

主に本浦地区で踊られています。おめでたい席で披露される事が多く、由来は、昔の花嫁が嫁入りする様子から来ています。男性は女性の着物を着て、唄に合わせて舞歩きます。

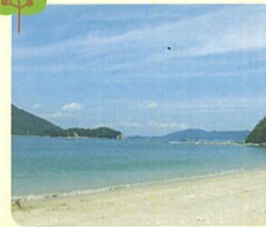
ありのままの自然の移り変わりをご覧ください！

# 四季の風景

## 春 (馬島桜)



## 夏 (刈尾海水浴場)



## 秋 (近江ガマ群生地)



## 冬 (初日の出)



## 絶景撮影スポット「大津島の夕日」



# 伝統料理

島に古くから伝わる家庭料理です。味は絶品ですよ！



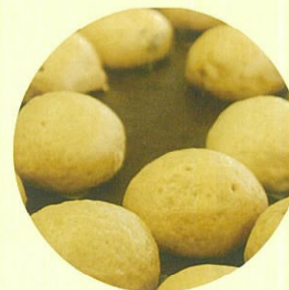
## 1 ゴミソ

島で古くから食べられています。材料は小麦、大豆、塩、砂糖、麴、蜂蜜だけを使っています。ご飯にかけてのもよし。焼き魚や野菜と和えるのもよし。島の食材との相性は抜群です。



## 2 まんじゅう

島で、無農薬で栽培され、収穫した「ニシノカオリ」を使用して作る「手作りまんじゅう」。保存料など一切入っていないため、小麦本来の香りがします。シンプルですが、素材の味が楽しめるおススメの一品です。



## 3 あまんだもち

作り方はとてもシンプルです。粉末にした芋の粉に砂糖を加え、蒸してから餅をつくように、ついていきます。その後形を作って完成です。食感は、モチモチしていて口の中に芋本来の香りが、ふわっと広がります。かんころもちとは、製法が違うため、全国的にも珍しい料理です。



# 普段何しているの？ 島民の日常



## ご近所同士での飲み会

島には、飲食店がありません。そこで、地域の人達は、皆で集まり、お茶を飲んだり、お酒を飲み、カラオケをするなどして、コミュニケーションを深めています。日常の楽しみのひとつです。



## 夕涼み

夏。島は、夕方になると気温が下がり、心地よい風が吹きます。すると、港の周りで散歩をしたり、夕涼みに出て、話をしている人が多くいます。